

平成
28年度

予

算

を

問

う



総括質疑

予算特別委員会

予算特別委員会では、2月26日、29日、3月1日、2日の4日間、21人の議員が予算全般について質疑を行いました。

中野駅西側南北通路及び橋上駅舎実施計画

自由民主党議員団

内川 和久

手していきたい。

中野中学校跡地の利活用

問 2020年までの完成が想定されていた中野駅西側南北通路及び橋上駅舎の実施計画が、28年度予算から削除されたのはなぜか。

答 基本設計の進捗に伴い、供用開始が困難であることが判明したためである。

中野区版ふるさと納税

問 実施計画予算が減額補正され、債務負担行為も廃止されたが、今後の計画の見通しが立っていないということか。

問 「中野にふさわしい寄附のあり方」とはどのようなものか。いわゆる返礼品付きの中野区版ふるさと納税なのか。



公明党議員団

久保 りか

鷺宮地域のまちづくり

問 西武新宿線野方以西の連続立体交差事業の進捗状況と、当事業への区の決意は。

問 鷺ノ宮駅北側の中杉通り沿道のまちづくりについての考えは。

答 連続立体交差事業の新規事業化について、野方駅から井荻駅間が社会資本総合整備計画に位置付けられた。沿線一帯のまちの改善が重要であり、全力でまちづくりや踏切り、渋滞解消に取り組んでいく。

食品ロス削減の取り組み

問 野方等に先んじて鷺宮の検討会を設立するのはなぜか。

問 食品ロスについて学ぶ機会として、区内の調理や栄養専門学校との協力を得てイベントを開催してはどうか。

西武新宿線連続立体交差事業

問 東京都議会における答弁で「西武新宿線野方駅から井荻駅間を社会資本総合整備計画に位置付ける。」とあるが、この予定化は。

答 野方駅から井荻駅間がこの計画に位置付けられることで、連続立体交差事業の実現に向けた新たな一歩となる。



日本共産党議員団

浦野 さとみ

財政運営と基金活用

問 財政非常事態と言いつつながら区の財政調整基金は増え続けている。今年度末の全ての基金総額の見込みは。

問 中野駅周辺まちづくり費の28年度予算額と前年度比は。

教育・子育て環境の整備

問 特別支援学級の児童数はここ3年で倍以上に増え、今の職員体制で巡回指導を組むのは難しいとの声も聞く。教員の増員を検討すべきでは。

問 若宮小のはなみずき学級は、移転により教室数が半分になる。教員からの教室数確保の要望にどう対応するのか。

問 区立幼稚園2園を認定子ども園に転換する方針が示されたが、保護者や園に対しニーズ調査を行ったのか。

問 ひがしなかの幼稚園における、特別な支援を必要とする児童の入園数の推移は。

問 25年度7名、26年度12名、27年度13名である。

平和の森公園再整備構想案

問 樹木移植により防火樹林としての役割はどうなるのか。

問 陸上競技トラックはどのような使用を想定しているか。

問 陸上競技等で活用する際は、占用を想定している。

問 誰でも自由に、安全に使える現状を保てるのか。

問 安全性等を配慮した運用について検討したい。

問 店舗や自宅等の落書き除去

問 過去の支援を検討しては。他区の事例等調査したい。

タブレット型 携帯端末等の試行を実施中です

中野区議会では、省資源化の取り組みの一環として、本会議及び委員会において、タブレット型携帯端末等の試行を実施しています。